

「介護のしごとと魅力発信等事業」の拡充

【令和3年度予算額案】561,299千円（684,274千円）

- 介護の仕事の魅力発信については、福祉・介護型イベントの実施に加えて、①若者層、②子育てを終えた層、③アクティブシニア層に対する個別のアプローチ、介護事業所の事業主に対する意識改革により、魅力向上に取り組んでいる。
(ターゲット別アプローチの例)
 - ・若者層：新卒者向け就職フェアなどにおいて、介護の専門性や魅力、働き方の多様性、「残業が少ない」等を発信
 - ・子育てを終えた層：介護の専門性や魅力、働き方の柔軟性、「親の介護に役立つ」等を発信
 - ・アクティブシニア層：経済界等と連携し、退職前の中高年に対して介護の専門性や魅力、社会的重要性、「介護される側からする側へ」等を発信
- 令和3年度においては、事業主等への発信事業として、全国から介護従事者を選手として募り、「認知症」「食事」「入浴」「排泄」「看取り」「口腔ケア」等の分野で、課題に応じた実技を審査・評価を行い、優秀者を選考・表彰する「ケアコンテスト」の取組について情報発信を行い、介護技能の向上を図るとともに、介護従事者の社会的評価を高める社会的機運を醸成する。

＜ 事業イメージ ＞

